

自分で考えて行動する力を育てよう！～今からできる家庭でのサポート～

小学校に入ると、こどもの行動半径は一気に広がり、親の目の届かないことも増えてきます。そんな時に大切なのが「自分で考えて行動する力」です。まだ、親の腕の中にいる今こそ、その力を育てるチャンスの時です。入学までにあれもこれもできるようにさせなければ、と焦る気持ちをちょっと横に置いて、「自分で考えて行動する力」を家庭の中でどう育てるかを考えていきましょう。

<任せて見守る>

まずは、こどもができそうなことや、興味のあることを少しずつ任せることから始めましょう。翌日の持ち物の準備、洋服選び、食卓の準備、お片付け…などなど、身の回りのどんな小さなことでも大丈夫です。本来こどもはやりたがりです。大好きなお父さん、お母さんから「あなたならできるよ！やってごらん」と任されたこどもは、「よし！やってみよう」と嬉しい気持ちで取り組んでいくことができます。

そして、任せた後は、ゆっくりじっくり見守ります。もちろん、初めからうまくいくとは限りません。こどもの様子を見てみると、「そうじゃないよ～～、もっとこうしたほうがいいのに・・・」と、もどかしく感じたり、手出し口出ししたくなるかもしれません。ですが、こどもはこどもなりに考えて、「やってみる」を体験中です。うまくいかないことがわかると、「じゃあ、どうしたらいいかな？」と考えて別のやり方を試してみます。このような試行錯誤を繰り返す中で、考えて行動する力が少しずつ育っていきます。親にもちょっぴり忍耐が必要ですが、こどもの力を信じて、そのチャレンジを見守っていきましょう。

<寄り添う>

とはいえ、こどもは、うまくいかなくて、ぐずぐずしたり、投げ出したりすることもありますよね。そんな時、こどもは、さまざまな気持ちと葛藤しています。その気持ちを収めて前に進むためには、親のサポートが必要です。まずは、「そっか、嫌になっちゃたのね」と、こどもの気持ちに寄り添うことが大切です。親に気持ちをわかってもらえた、受け止めてもらえたと感じると、それだけで元気が出たり、もう一度頑張ってみよう！という気持ちにもなります。さらに、「どうすればできるかな？」「一緒にやってみようか？」などの声掛けや励ましがあれば、親の愛情を十分に感じながら、最後まであきらめずにやり遂げることができます。

入学前のこの時期に、できることはこどもに任せ、ゆっくりじっくり見守り、しっかりと寄り添いながら、こどもの「自分で考えて行動する力」を育てていきましょう。

小学校入学は、親にとっても大きな環境の変化です。ちょっと心配だなあと思う時に、頼りになるのが周囲とのつながりです。親だけでできることには限りがあります。一人で抱え込まず、学校、地域、そして親同士でタッグを組んでこどもたちの成長を見守っていきましょう。親子の楽しい小学校生活を心から応援しています。



NPO 法人ハートフルコミュニケーション
理事 福田潔子

＊楽しい学校生活を送るために… こどもと一緒に準備をしましょう ＊

入学前に行きと帰りの通学路を親子で確認しましょう。

こども一人で通学できるようにするために、こどもと通学路を一緒に歩いてみましょう。



規則正しい生活を送りましょう。

学校生活が始まると、新しい環境にこどもは疲れやすくなります。早寝早起きの規則正しい生活をして、元気に学校生活を送れるよう準備しましょう。



学校の様子を見に行ってみましょう。

各小学校では、学校公開日、学習発表会、展覧会などの行事を参観することができます。

4月から通う学校を実際に見ることで、親子で入学を楽しみにできるといいですね。



家庭における 小学校入学に向けた 心の準備

こどもたちの成長と楽しい小学校生活を
応援しましょう！



大田区教育委員会

あいさつとお返事ができる



おはようございます!

- ★おはようございます・さようなら・ありがとうございます
- ★「はい」と返事ができる

お話を「きこうとする」ことができる



- ★話している人の方を向いてきくことができる
- ★さいごまでお話をきくことができる

*お子さんの話をしっかりと聞いてあげることで自然に身につきます。
*お子さんも話をきいてもらうことで安心することができます。

小学校入学までに身につけてほしいこと

衣服の脱ぎ着とトイレ

- ★衣服の脱ぎ着ができる
- ★和式トイレの使い方もわかる



ひらがなで自分の名前が読める

- ★自分のものがわかる
- ★くつ箱、ロッカー、座席など自分の場所がわかる

*自分の名前が読めると、「自分のもの・ほかの人のもの」「自分の場所・ほかの人の場所」を区別できます。



お子さんと話し合ってみましょう!

自分で危険を回避し身を守ること、友だちやほかの人に自分の気持ちを伝えられるようにすることは大切です。

もしも誰かに声をかけられ、怖いと思ったらどうする?

- ★大声で「助けて」と叫ぼう。
- ★逃げよう。知っている家、お店、こどもSOSの家…。

お友だちと遊んでいて、嫌なことをされたらどうする?

- ★「いやだ。やめて」と言おう。
- そして、お友だちが「やめて」と言ったら、自分が楽しくてもやめよう。

もしも困ったことがあったらどうする?

- ★具合が悪くなったとき、トイレに行きたくなくなったとき、忘れ物をしたとき。何か困ったことがあった時は、自分から言えるようになれるといいね。

もし気になることがあっても抱え込まないで!

区や都の相談機関を利用してみましょう。

- ♥こどもの生活面や学校生活上の悩みに関する相談
大田区立教育センター 電話 03-5748-1201
- ♥こどもと家庭に関する総合相談
おおたこども家庭センター 電話 03-5753-7830
- ♥妊産婦及びこどもとその家族に関わる相談
大森こども家庭センター 電話 03-6423-0842
調布こども家庭センター 電話 03-6425-7566
蒲田こども家庭センター 電話 03-6424-5522
糀谷・羽田こども家庭センター 電話 03-6423-8866
- ♥学齢期の発達障がいに関する相談
障がい者総合サポートセンター さぼーとぴあ 電話 03-6429-8524
- ♥子育ての悩みや不安・学校生活に関する相談
東京都教育相談センター 電話 0120-53-8288

★子どもを見守る先輩からの応援メッセージ★

大田区の小学生の保護者の方々から、温かい応援メッセージが届きました♪ アドバイス入りです♪ * ()内はこどもの学年

送り迎えがなくなり楽になる一方、心配もあると思いますが、みんな元気に笑顔で登校しているので大丈夫ですよ。困ったら何でも相談して子育てを楽しみましょう♪ (小5)

普段からこどもと話すことを心がけると、ちょっとした変化にも気づくものです。なるべく時間をとってこどもの様子を知り、温かく見守ってあげたいですね。(小2)

「おやじの会」に入って、こどもたち向けのイベントに取り組むなかで、父親同士も仲良くなっています。会社とは違う「おやじライフ」を楽しんでいます。(小3・5)

こどもは、大人が思うよりもはるかに順応性があり、すぐに新しい友だちもできます。何か不安があったら、先生や周りの保護者に声をかけてみてください。(小5)

もうじき小学生だね!と家庭ではあまり言わないようにして、入学してから、「小学生ってスゴイね!」と親子で日々の新しい出来事を楽しみました。最初は不安そうなこどもたちも、あっという間に立派な小学生の顔になりますよ。(小2・5)

PTAは“和して同ぜず”“腹八分目のお付き合い”が理想。それでも楽しくランチする友だちはいますよ(^^♪ このくらいのお付き合い、おススメです! (小6)

教育委員会では

保護者が家庭の中でこどもとどう向き合うかをまとめた『子育ての3つのヒント(家庭教育の手引き)』を窓口で配布しています。

また、子育てで大切なことなどを読みやすくまとめた『家庭教育コラム』を大田区ホームページで定期的に掲載しています。



『家庭教育リーフレット』

令和8年10月発行 教育総務部教育総務課
〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号
TEL 5744-1447 FAX 5744-1535